

渡島管内社会教育主事会 ～コロナ禍における社会教育推進の取り組み～

鹿部町「各種委員の研修活動」

概要：全国社会教育委員研究大会（石川県）に委員皆でオンライン参加。

町独自の研修会と位置づけ、大会の視聴と情報交換を行った。

ポイント：コロナ禍により出張を伴う研修は中止となったが、オンラインで参加できる研修が増えた。旅費がなくても研修できるように！
読書推進委員の研修も同様に行いました。



知内町「チャレンジパラスポーツ 2021」

概要：道教委の障がい者の生涯学習推進コンソーシアム形成事業とスポーツ事業を併合して実施。

ポイント：まん延防止期間が解除されたため、手指消毒等通常の対策のみで運営。

木古内町「キッズトリスports」

概要：R3年度より小学1～4年生を対象に新規事業として実施。

コロナ禍による運動機会の減少やストレス増加が懸念されていたことから放課後に定期的に運動をする機会を設ける。

ポイント：熱中症や酸欠を防止するため、マスクの着用を強制せず実施。



渡島管内社会教育主事会「ZOOMライセンス事業」

概要：新型コロナウイルス感染症の影響により、従来の社会教育行政としての役割、働きが満足に行えていない中、ZOOMを駆使した新しい社会教育スタイルを確立するため、渡島社会教育主事会独自でZOOMライセンス（ZOOMPRO）を取得し、各市町の社会教育行政の発展に繋げる。

ポイント：渡島主事会員だけではなく、管内の社会教育担当者や団体等も利用可。